

この夏、各方面での八幡中生の活動を紹介します 5

パソコン部 大学施設見学 ものづくり大学見学 7月25日(火)

本校は、部活動を奨励しています。特に夏休みは、時間的な制約も少ないため、練習試合や学部施設見学など、学期中よりも多様な活動が可能な期間です。そこで、本校の部活動がこの夏休みに行った活動を紹介します。

7月25日(火)、パソコン部は、大学施設見学に行ってきました。場所は、埼玉県行田市にある「ものづくり大学」です。当日は、本校技術科 安藤教諭のお知り合いの三井 実 教授にご案内いただき、様々な研究・開発について、見学・動画視聴をさせていただきました。(以下、主な内容)

- ・脳性麻痺ユーザーのための、PC 操作機器の開発
- ・果樹の植物プラントの受粉システムのための、空気流発生装置(空気砲)の開発
- ・テオヤンセン機構を用いた、一人乗りコンピュータの研究
- ・無限チェロ(弦のないチェロ)、ヨーヨー型シンセサイザ等、新しい電子楽器の研究
- ・今春開催の「大ベルセルク展」における、音響システム及び照明システムの設計・開発・実装・設置等



以下は、今回参加した 1-2 湯本 理さんのレポートの抜粋です。

ものづくり大学では、電子楽器関連や、福祉ガジェット関連、農業支援ガジェット関連の開発・研究をしているということがわかった。私は「弦のないチェロ」が一番心に残った。なぜなら、チェロの弦をなくすという発想が自分にはなく、そのようなことが思い浮かぶのはすごいと思ったからだ。私は以前からものをつくるのが好きだったので、見学していて、どうやってつくっているのか不思議なものがあり、楽しかった。(当日は)暑くて、とても遠かったけれど、初めて大学に行くことができて良かった。大学は、自分の興味のあることを研究することができ、楽しそうだった。

今回、日頃みることがない大学での研究の様子を参観させていただきました。それにより生徒たちは、学問の一端にふれることができたこと、自分の知識や興味・関心の幅を広げることができたことなどで、自分の進む道を考える上でも有意義なものとなった、そんな一日になりました。